

令和3年度 第1回 社会福祉士養成学科 教育課程編成委員会 報告書

開催日時：令和3年8月20日（金）15：00～16：30

場所：zoom 形式

参加者名

委員 藤井 亘 （東京都自立支援協議会 委員）

委員 小田 智雄 （社会福祉法人やまて福社会 理事）

委員 佐藤 初美 （NPO 法人 10代・20代のにんしん SOS 新宿 理事長）

教員 秋山 雅代 （社会福祉士養成学科 学科長）

教員 片桐 正善 （社会福祉士養成科 科長）

職員 萬崎 保志 （教務課次長）

職員 松木 健太 （教務課）

議題：

1. はじめに

冒頭、司会の松木より、前年度振り返りがあった。

2. 昨年度検討事項から現在の取り組み状況について

・ソーシャルワーク実践研究会のオンライン（zoom）活用について

片桐)

昨年度ご提案いただいたオンラインの活用を今年度より早速取り入れた。4月、6月と現在までで2回実施しており、参加者は20名ほど。運営に関して今のところ問題なく進んでいると感じるものの、まだ手探りの状態といえる。

一番の悩みどころは『告知方法』。学校からお声掛けしている20名ほどの人数であれば、滞りなく運営が進むものの、HPなどからの告知を実施して、仮に参加者が膨大になった場合には管理が行き届かなくなる可能性がある。

まだ2回の開催なので、この形が有効な手段かどうか図りかねるところではあるが、オンラインでもできるという手ごたえもあったため、今年度いっぱいオンラインを継続し、1年やってみたタイミングで、また何かしらの報告ができると思う。

<各出席者からの意見>

特になし

・今年度の実習について

秋山)

今年度も学外実習とオンライン実習の2つを併用して行っている。
昨今のコロナウイルスの影響により実習先が減っている状況だが、学生に社会福祉の現場を少しでも体感してもらうべく、実習先にご協力いただき、1人あたりの学外実習の期間を短縮して現場での学びをできる限り提供している。

<各出席者からの意見>

特になし

3. 検討事項

・入学検討者への入学前教育について

秋山)

大卒入学者の中では卒業後のソーシャルワーカー像の偏りが大きくMSWのみを目指す学生が多い。ケアワークを伴う相談支援の場には行きたくないという声も聞こえてくる。

入学後の教育で卒業生講演や、多様なソーシャルワーカー像を伝える教育を行っているが、入学前段階から多様なソーシャルワーカー像を示していくアイデアはないか。

<各出席者からの意見>

佐藤委員)

福祉系の大学生が卒論テーマなどで、尋ねてくることもあるが、確かにMSWをという方が多い印象はある。お話を伺うと『福祉分野は給与が安い』『医療分野は給与が良い』という声も聞こえる。大変だけど面白みはあるということをごだけ伝えて理解いただけるか。

藤井委員)

内定が決まったら内定者懇談会や、現役の職員との座談会の実施といった工夫がある。就職活動中の学生と話しをしていると、卒業後のイメージが持ちづらく、学校で学ぶ勉強だけではイメージができないという声もある。

→秋山)

“教員が間に入らない形で”というのは実際にできると感じた。入学前教育の中には、国家資格の取得、そして就職活動を1年間で行うイメージを醸成して欲しい思いがある。そのため、教職員がいない状態でぎっくばらん生や卒業生の話を聞けるとより具体的なイメージをつかめるのではと感じた。

また、現在ご協力をいただいている学内実習動画のダイジェスト版のようなものを作成できると、様々なソーシャルワーカー像のイメージができるのかなとも感じた。

4. まとめ

- ・ソーシャルワーク実践研究会は今年度いっぱいオンラインを活用した運営を継続し、効果測定を行っていく。また告知方法については継続的に検討しながら進めていく。
- ・入学前説明会には教職員が介入せず、入学検討者と在校生や卒業生とざくばらんに話ができる機会を企画する。ただし、コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せない為、今年度どこまで対応できるかは未定。状況を見ながら検討を進めていく。

以上